

平成27年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

～国際感覚を備えた新しい時代のリーダーを育てる学校をめざす～

1. 希望の進路実現に繋がる確かな学力を育む学校
2. 国際理解教育の推進を図り、自己表現力、コミュニケーション能力を身につけ、グローバル化の進む社会で活躍できる人材を育成する学校
3. 夢や目標にモチベーション高く向かい、リーダーとなりうる社会人基礎力を備えた人材を育成する学校

2 中期的目標

1 確かな学力の育成【授業力】

- (1) 新学習指導要領を踏まえ、基本的な学力の定着を礎に、進路実現を保障する確かな学力をつける。また、各教科の実践と検証に則り、教育課程委員会等を核として「わかる授業、やる気を引き出す授業」を目標として大幅な授業改善に取り組む。
※ICTの授業での活用を推進し、学習内容の理解度を向上する。
※各教科で教え方、使用する副教材（ICTの副教材やプリント等）の研究、及び教科毎の情報共有化を図る。
※全ての科目の授業で、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を養う機会を積極的に設ける。
※既習内容の記憶の定着を図るため、可能な限り、授業終了前3～5分間に既習事項確認の発話（ディスカッション）の時間を設ける。
※土曜講習や補講を充実し、学力の底上げを図る。
※進路指導部・学年・教科等で密に連携し、年間計画に基づいた綿密な進路指導、学習指導を行う。
●学校教育自己診断「授業はわかりやすい」平成26年度49.3%を、→平成27年度53%、平成28年度58%、平成29年度63%を目標とする。
●授業アンケート「授業内容に、興味・関心をもつことができた」についての肯定的回答、平成26年度73.8%を、→平成27年度75%、平成28年度78%、平成29年度80%を目標とする。
●授業アンケート「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」についての肯定的回答、平成26年度71.5%を、→平成27年度73%、平成28年度78%、平成29年度80%を目標とする。
●英語検定準2級以上の合格者合計、平成26年度111名を、→平成27年度120名、平成28年度125名、平成29年度130名を目標とする。
●国公立大学現役合格者数、平成26年度3名を、→平成27年度5名、平成28年度8名、平成29年度10名を目標とする。
●難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西/京都外大）の現役のべ合格者数、→平成26年度169名を、→平成27年度180名、平成28年度200名、平成29年度220名を目標とする。

2 キャリア教育に基づく自己実現の支援【自立・自己実現の支援】

- (1) 自立した基本的な生活習慣を確立する。挨拶等の社会人としてのマナーや常識について伝え、規範意識や協調性を培い、遅刻や欠席を減らす。
※マナーや常識、規範意識や協調性の大切さについての講話を実践する。（校長）
※社会や学校のルールを守り、自発的に自分を律することができる「自主自律（校訓）」の精神を醸成する。
※生活指導部・学年等で密に連携し、根本的な生活指導を綿密かつ丁寧に行う。
●頭髪、服装、遅刻指導を徹底する。特に遅刻は平成17年度12640件だったものが著しく減少し、十分に指導実績を上げてきている。平成26年度1157件を、→平成27年度1150、平成28年度1140件、平成29年度1130件を目標とする。
- (2) 学校行事や部活動、国際関連行事や語学研修を通し、成功体験、失敗体験から「達成」と「克服」を経験し、社会人基礎力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」を養成する。生徒が夢や志を持って自己の可能性を伸ばし、よりよい社会を創っていかうとする態度を育む。
※集団活動に積極的に取り組む機会と環境を提供し、自他の違いを認め、協調し、自分の希望や都合よりも相手の立場や気持ちを優先できる「協調友愛（校訓）」の精神を培い、国籍を問わず、他者と望ましい人間関係を構築できる人間性を育む。
※普通科、国際教養科の隔たりなく、国際感覚を醸成すべく、校内国際交流、海外語学研修等、国際交流に取り組む機会を支援する。
●部活動加入率（3学年平均）、平成26年度67.1%を、→平成27年度68%、平成28年度69%、平成29年度70%に伸ばすことを目標とする。

3 学校の特色づくりと組織力の向上【学校運営】

- (1) 勉学、学校行事、部活動などの教育活動に関する教職員の共通理解を深め、気持ちを一つにして「よりよい旭」に向けてチームワークを育み、目標を持って邁進できる組織を構築する。
※運営会議、職員会議などの充実を図り、合理的な校務分担体制を確立する。更に、授業改善と教員研修を主導する魅力授業プロジェクト（MJ P）、新入試制度に向けて検討する旭将来構想プロジェクト（AFP）の運営、及び立ち上げに注力する。
※前年踏襲ではなく、教職員が常に「改善」の意識を持ち、PDCAによる学校改革、授業改善に一丸となって取り組むよう努める。
- (2) 校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を捻出する。⇒ICTの整備充実と活用促進を図り、授業改善、校務の効率化に繋げる。
※学校掲示板やICT機器の活用を推進し、分掌の校務や教科準備など事務的作業の簡略化、授業準備の効率化を図る方法を教員主体で構築する。また、経費削減の意識を持って教職員間のペーパーレスをめざし、学校掲示板の使用頻度を上げるよう働きかける。
- (3) 学校の特色の共通認識と広報活動の充実を図る。
※HPを充実させ、地域行事参加、中学校（学習塾）訪問等、広報活動の範囲を広げる。
●広報活動の拡充を図り、学力検査の応募状況、合格者分布等を精査し、積極的に学校説明会に参加する。また校内でオープンスクールを年3回開催する。26年度は目標の1500人を大幅に上回り、1819名来校者があった。キャンパシティの問題もあるので、1800名程度を目標とする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成27年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>□肯定的回答（よくあてはまる、ややあてはまる）の割合 今年%（昨年%）</p> <p>●確かな学力の育成</p> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供は授業が分かりやすく興味深いと言っている。36.4%（42.0%） <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業はわかりやすい。49.0%（49.3%） ・授業で分からないことについて先生に質問しやすい。51.5%（51.2%） <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の精選・工夫を行っている。93.1%（88.1%） ・学習指導の方法や内容について工夫している。93.1%（91.5%） <p>【分析】</p> <p>授業については義務教育とは異なり、一定水準の教科書を選択するので、分かり難いと感じる生徒がいるのもある程度やむを得ないが、別途実施の授業アンケートでは70%以上の生徒より、授業に興味関心を持ち、知識や技能が身についたと感じているという肯定的な評価を得ている。また、93%を超える教員が、教材の精選・工夫や学習指導の方法や内容について工夫していると回答している。</p> <p>●学校生活全般</p> <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に行くのが楽しい。75.5%（73.7%） ・将来の進路や生き方について考える機会がある。75.1%（72.5%） ・先生ははじめ等困っていることに真剣に対応してくれる。48.8%（47.6%） <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。81.1%（82.8%） ・将来の進路や生き方について適切な指導を行っている。63.2%（63.5%） ・学校の生徒指導の方針に共感できる。66.9%（66.7%） <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員は生徒の意見をよく聞いている。70.2%（76.3%） ・生徒の問題行動が起こったとき組織的に対応できる。82.8%（74.6%） ・生徒はクラス担任以外の教職員とも相談できる。78.9%（76.3%） <p>【分析】</p> <p>学校に行くのが楽しい、将来の進路や生き方について考える機会があると感じている生徒がいずれも75%を超え、其々増加したことは好ましい。生徒相談に関しては、生徒の評価はそれほど高くはないが、教員は昨年よりも連携を取りやすい状況になったと感じており、組織力が高まったと言える。</p> <p>●学校経営・施設整備全般</p> <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室等は授業がしやすいように整備されている。58.2%（60.0%） <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室等の学習環境は満足できる。50.3%（53.9%） <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に教職員の意見が反映されている。51.7%（59.3%） ・分掌や学年間の連携が円滑に行われている。50.0%（44.1%） ・教育活動について生徒・保護者への周知に努めている。74.1%（80.0%） ・生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう指導を行っている。91.4%（-） <p>【分析】</p> <p>1年～3年の全普通教室にプロジェクタとスクリーンが設置され、教室の学習環境は整備されているが、学校の建物、施設設備の老朽化により、施設面での評価が生徒からも保護者からも低くなっている。また、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう指導を行っているという項目で肯定的に回答している教員が91%を超えており、生徒からも将来の進路や生き方について考える機会があると肯定的に回答している生徒が75%を超えているのは、学校の目標である生徒の『希望の進路実現』に関し、教員の熱心な取り組みが生徒に伝わっているからだと考える。</p>	<p>●第1回（6月19日）～旭高校の魅力ある授業づくりについて～</p> <p>○司会：佐藤教授</p> <p>□部活動に関して→・加入率が66%とのことだが、ボーダレスで国際的な部活動はあるか。⇒旭高校では4、5月に入部した生徒の退部率は低く、途中入部も少ない。そのため入部者を確保するには4月が勝負となっている。・部活動は就職活動で生きる。文学部の学生に、成績が上位であり性格もよいが就職が決まらないという子がいた。高校・大学で部活動していないためだろうか悩んでいた。部活動も途中で入れるような雰囲気であればよいと思う。⇒勉強以外で語れるものを作ることが大事。企業側は協調性のある一緒に働きたい人を選ぶ。部活動は精神的な成長と就職活動に繋がる。</p> <p>□応援合戦の活動について→・とても活気にあふれており、旭の強みと考えられる。・体育祭応援団のパフォーマンスの映像を見て、生徒たちには様々な困難があったと思うが高校生は能力開発ができる時期であり、体育祭応援団は素晴らしい教育活動だと思う。⇒今後も学校行事として応援団活動を推奨する。</p> <p>□アクティブラーニングについて→・小学校ではアクティブラーニングを進めようと考えている。旭高校ではどうするのか。⇒将来の高大連携のために導入していく。生徒が意図的に考える時間を授業内に作るよう個別に指導を始めている。</p> <p>□現在の高校生の足りないこと、よい所→・力があるので目標高く持ってほしいが入試が楽な大学で安易に決定してしまいがちである。・情報収集能力がとても高いが、ドイツ語の勉強において地味な時期を過ごしつつ達成感を少し感じられるものだが、そういった辛い時期、積み上げ型に耐えられない。目に見える楽しいことがないと取り組めない。⇒今後も旭校生の誇りを持って目標高く成長してほしい。</p> <p>□校長謝辞</p> <p>●第2回（10月16日）～旭高校の魅力ある授業づくりにむけて～</p> <p>○司会：佐藤教授 —施設見学と本年度の学校経営（中間報告）をうけて—</p> <p>□広報活動について→・ICTの導入や進路実績は中学校の関心を引いている。旭の体育祭などは近隣にとっても強い影響力があり、旭の生徒1人ひとりが広告塔になっている。</p> <p>・警察に依頼して講演会などはできないか？大きな事件がよく起こるようになってきている。警察官の話聞くのは親が言うよりも説得力がある。⇒薬物に関しては毎年旭警察に依頼して講演会を行っており、交通安全教育も取り入れる。・ホームステイの受け入れについて最近はどうか？国際教養科があるのだからもっとホームステイのPRを行い、食事などの情報も説明してほしい。⇒過去3年間は本校生のみで受け入れてきている。保護者が難色を示すケースがある。保護者の感想や情報等を集め、家庭に伝えている。</p> <p>□施設面について→・旭高校の校舎が古く、トイレなど汚い所をどうにかしてほしい。また守衛室はいつ崩れてもおかしくない状況なのでどうにかできないか。⇒守衛室は現在使われていないが解体も維持も予算がないのでどうすることもできない。トイレも同様である。</p> <p>□校長謝辞</p> <p>●第3回（1月29日）～学校経営計画及び学校評価についての提言～</p> <p>□27年度の総括→校長：27年度は模擬投票が先進的取り組みとして多数取材され、好評を得た。進路行事として入試、進路への意識づけとして教員からの提案で0学期始業式を2学期終業式に行った。</p> <p>□28年度に向けた新たな取り組み→校長：①カリキュラムを変更し、確かな学力の育成に繋げる。来年度は1年生のみ新カリキュラムで学習する。②授業力改善委員会を立ち上げ、総合の時間のシラバス作りと職員研修を充実させる。③修学旅行委員会を立ち上げ、修学旅行を学校行事として位置づけ、内容の充実、経費（下見費用等）の削減を図る。④副担任制を導入し、担任一人ではなく、担任と副担任の二人で生徒を見ていく。</p> <p>○協議（司会を委員長へ）</p> <p>委員：キャリア教育についての詳細を聞きたい。</p> <p>教頭：校長からの講話や進路指導部で行っている。</p> <p>校長：学校教育全体がキャリア教育。職業に直結するものでは進路指導部を中心とした進路行事。</p> <p>委員：「生き方」を伝えていくことの難しさ。</p> <p>委員：学校説明会で保護者がよく聞いてくる項目は。</p> <p>首席：まずこちらから学校について説明。よく出る質問はクラブ、進路状況について。</p> <p>委員長：旭高校について予備知識をもって訪れるのか。</p> <p>校長：カラーファイルの活用で説明している。</p> <p>委員：学習意欲について。家庭学習はどうか。</p> <p>進路指導部長：難しい。わかりやすく教える努力はするが、自分で学ぶ意識は必ず必要。講習もするが自分で学ぶ意識がないと同様の結果。 □校長謝辞</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">確かな学力の育成【授業力】</p>	<p>【わかる授業、やる気を引き出す授業】</p> <p>ア 授業改善の意識の醸成。教科間での連携の徹底。</p>	<p>ア (4～7月) ICT活用研修を昨年に引き続き行う。26年12月の授業アンケートの結果の③～⑨の平均点を教科毎に纏め、生徒からの評価が好ましくない教員の授業見学をし、どのように授業改善を行うかを一緒に模索する。授業の組立やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高める授業運びを提案する。 (8月～11月) ICTを活用した授業改善を推進するために、夏休み中に1年生の普通クラス全9教室に、電子黒板機能付き短焦点プロジェクタとスクロール式マグネットスクリーンを設置する。また予算の許す範囲で、書画カメラを各教室に常設し、授業、クラス活動での活用率を上げる。 (12月～3月) 学校教育自己診断等の結果、年間実践の振り返りと課題探索を行う。</p>	<p>□学校教育自己診断結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「授業はわかりやすい」についての肯定的回答、平成26年49.3%を3.7%増の53%にすることを目標とする。 <p>□授業アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「授業内容に、興味・関心をもつことができた」についての肯定的回答、平成26年73.8%を1.2%増の75%にすることを目標とする。 ●「授業を受け、知識や技能が身についたと感じている」についての肯定的回答、平成26年度71.5%を1.5%増の73%にすることを目標とする。 <p>●英検準2級以上合格者数 英検準2級以上合格者数合計、平成26年度111名を9名増の120名にすることを目標とする。</p>	<p>□学校教育自己診断結果（肯定的回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「授業はわかりやすい」昨年49.3%から49%（H27.12）にほぼ維持できた。（○） ●今後、アクティブラーニングの導入やICTの機器活用、教科内の連携等を通して更にわかりやすい授業をめざす。 <p>□授業アンケート結果（肯定的回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「授業内容に、興味・関心をもつことができた」昨年73.8%から71.8%（H27.12）となりほぼ維持できた。（○） ●「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」昨年71.5%から74.8%（H27.12）となり目標を上回った。（◎） ●教科や単元により難しいこともあり、単に%向上を求めただけでなく、教員一人ひとりが更なる授業改善の意識を持つよう、また教科間の連携を促す。 <p>●英検準2級以上合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数254名（昨年290名） ・合格者数90名（△） <p>●英検模擬テストを行ったが、逆に安全圏での3級受験が目立った。3級も含めると308名受験しており、英検に対する興味付けはできている。準2級以上の合格者数は昨年の合格者数111名を下回った。</p>
	<p>イ 学習の質量の向上</p>	<p>イ 季節講習、補習などの実施状況と受講状況の把握と効果の実証と改善。学習の機会を増やす。自宅学習時間が少ないので、自宅学習の充実を図る方法を模索する。また、センター試験、英語検定試験受験を推奨し、受験人数、並びに準2級以上の合格者数を増やす。 各教員の授業力の向上と相談体制の確立を図る。</p>	<p>●センター試験受験者数 センター試験受験者、平成26年度57名を13名増の70名にすることを目標とする。</p> <p>●国公立大学現役合格者数 国公立大学現役合格者、平成26年度3名を5名にすることを目標とする。</p> <p>●難関私立大学合格者数 難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西/京都外大）合格者、平成26年度169名を11名増の180名にすることを目標とする。</p> <p>●語学関係行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの英国・オーストラリア語学研修の事前研修を充実させ、実施する。 ・語学力を高めるために、語学系の暗唱大会やインターナショナルフェスティバル等への参加を促す等。 ・留学生の受入れを積極的に行う。 <p>●補習・講習 学習機会の充実を図る。 ◎各種講習を充実させる。 ◎補講を充実させる。</p> <p>●特別授業 生徒の視野が広げ、教養を高めるような有意義な特別事業を実施する。</p>	<p>●センター試験受験者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター試験受験者62名（昨年57名）（○） <p>●国公立大学現役合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学推薦入試現役合格1名（H28.3）（○） <p>●難関私立大学合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難関私立大学現役合格者数231名（◎） ●大幅に合格率が向上した。 <p>●語学関係行事</p> <p>◎語学研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英国語学研修（7月）28名参加（◎） ・豪語学研修（7月）19名参加（◎） ・京都イングリッシュバスツアー（10月）44名参加（◎） <p>◎語学力を高める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語暗唱大会（11月）1年（◎） ・スピーチコンテスト（11月）国教科2年（◎） ・第2外国語暗唱大会（12月）（◎） ・INT'L フェスティバル（1月）13名出場、スピーチ部門で3位入賞（◎） <p>◎留学生受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期：独から女子2名、短期：米から女子1名受け入れた。タイ姉妹校の生徒10名が1週間通学した。 ●スピーチコンテストや暗唱大会を通して生徒の成長を感じた。特に第2外国語暗唱大会では習得度に感心した。年間を通して、語学力向上のために様々な教育活動が行われている。 <p>●補習・講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期講習・冬期講習等（◎）・土曜講習（◎） ・追認指導（◎）・早朝講習（◎）1年連日小テスト（◎） ●生徒の進学に向けての講習、補習を行った。今後も学ぶ機会を増やし、学力向上に繋げていく。 <p>●特別授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年カルタ大会（1月）体育館に於いて（◎） ・課題研究3年 大阪W選挙模擬投票授業（9月～1月）（◎） ・1・2年教養講座（1月）オペレッタ鑑賞（○） ●大阪W選挙模擬投票は、先進的な取り組みが多く、マスコミ取り上げられ話題となった。TVでも放映された。

府立旭高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">キャリア教育に基づき、自己実現の支援【自立・自己実現の支援】</p>	<p>【自主自律・協調友愛（校訓）】の実践に繋がる取り組み</p> <p>ア 自立した生活習慣の確立</p> <p>イ 体験による「気づき」から学びを深める *成功・失敗・達成・克服体験など</p> <p>ウ 学校行事等による社会人基礎力の醸成</p>	<p>ア 生活指導部と学年との連携による指導方針の明確化と全教職員の実践。遅刻・挨拶・服装指導の継続指導。SNS対策、薬物乱用防止など、生徒の安心、安全に係る行事・講演会の取り組みを推奨する。</p> <p>イ 進路指導部と学年との連携による年間計画の周知（生徒、保護者、教職員）、実践結果の検討、部活動支援のための全教員協力体制の強化、学期毎に各部の活動状況、生徒の様子を把握等に取り組む。</p> <p>ウ 体育祭、文化祭等の学校行事の充実、国際理解教育の実践、国際交流の充実に取り組む、英語教育力の向上を図る。</p>	<p>●遅刻者数 遅刻者数（3学年合計） 平成26年度年間1157件を1150件程度にすることを目標とする。既に非常に少ない件数なので、現状維持でよい。</p> <p>●部活動加入率 部活動加入率（3学年平均） 平成26年度67.1%を、0.9%増の68%にすることを目標とする。</p> <p>□行事関係 ●進路指導に関する行事 進路指導に関する指導を充実させ、情報提供に留まらず、生徒の希望の進路実現に繋げていく。</p> <p>●国際理解教育に関する行事 国際交流を推進し、生徒の国際感覚を醸成できる環境を提供する。</p> <p>●生徒指導に関する行事 危機管理の一環としての避難訓練や、生徒の生活指導の一環としてのSNSや薬物の危険性についての講演を実施する。</p>	<p>●遅刻者数 ・1305名で昨年より13%増えたが依然非常に少ない。（◎） ●昨年度は1157件で府立高校10位くらいとのことだった。来年度も同様の水準で推移するよう指導していきたい。</p> <p>●部活動加入率 昨年度66.2%から62.9%で微減となった。（△） ●部活動は体力や知力だけでなく、社会人基礎力醸成にも繋がるので、今後も推奨していく。</p> <p>□行事関係 ●進路指導に関する行事 ◎校内実施模試 ・3年5月268名、7月250名／2年10月164名、1月304名 1年10月104名、1月251名（○）・看護医療模試：48名受験（◎）・学力診断1年・2年／実力考査3年（4月8月） ◎説明会・体験行事等 ・1日看護師体験33名参加（昨年34名）（8月）（○） ・進路説明会生徒向け9回保護者向け3回（◎） ・1年大学見学会12キャンパス（10月）（◎） ・OBOG懇談会（6月）（○）・各種奨学金説明会5回（◎） ・講師招聘進学講演会2回（12・3月）（◎） ・2年模擬授業（10月）大学より講師招聘18講座（◎） ・3年0学期始業式（2年12月）（◎） ・3年模擬面接（2学期）（○） ・進路通信・進路のてびき・資料集発行（◎） ・進路希望調査1年2年（2月）3年（5月）（○） 学校生活アンケート1年2年3年（5月）（○） ●希望の進路実現のために、進学に限らずキャリア教育として様々な角度からの働きかけを行った。今後も推奨していく。</p> <p>●国際理解教育に関する行事 ・1年Jica関西訪問（7月82名留学生を含む）（◎） ・Jica技術研修員6カ国8名来校。（9月）（◎） ・タイ姉妹校生徒10名教員2名来校。（10月）（◎） ・国際理解の授業で英語によるディベート。（11月）（◎）</p> <p>●生徒指導に関する行事 ・全学年情報モラル講演（5月）（◎） ・救急法講習会（6月）（○） ・2年人権講習車いすダンス（1月）（◎） ・1年薬物乱用防止講習会（12月）（◎）・避難訓練2回（○）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校の特色づくりと組織力の向上【学校運営】</p>	<p>【組織力の向上】</p> <p>ア 戦略化の共通理解</p> <p>イ ICT活用</p> <p>ウ 地域連携</p>	<p>ア 〈4月～7月〉 教員研修を充実させ、「改善」の意識をもち、PDCAを回せる組織の醸成に取り組む。 〈8月～11月〉 新入試制度を踏まえた今後の学校の将来像を検討する旭将来構想プロジェクト（AFP）の立ち上げに取り組む。 〈12月～3月〉 27年度の取り組みについての検証。改善点の把握と新しい取り組みの模索。</p> <p>イ 学校掲示板活用の徹底による業務連絡の更なる効率化を図る。</p> <p>ウ 広報活動の充実と拡大、地域コミュニティ等や小中学校との連携と貢献、中学校訪問や学校説明会の際に持参する資料の充実、及び学校紹介の仕方の共有を図る。それぞれの分野に関して綿密に企画、実施後のまとめや反省を校内で行い、今後につなげる。</p>	<p>●広報活動 ・HPの改新を図る。 ・26年度合格者の地域分布精査して中学訪問校数や学校説明会参加数を調整する。</p> <p>●オープンスクールの来校者数 平成26年度は目標とした1500名を大幅に上回り、1819名来校した。1800名程度を維持したい。</p> <p>●地域連携 旭区唯一の公立高校として地域との関わりや行事に積極的に参画し、連携を深めていく。</p> <p>●教職員研修 教職員研修を充実し、教職員の自分磨きを徹底する。平成26年度6回実施したところ、27年度は8回実施することを目標とする。</p>	<p>●広報活動 ・学校案内用ポスター作成（○）・中学校の説明会14会場に参加。（7月～10月）（◎）・中学校訪問（7月～9月）（◎） ・HPトップページの写真をFlashからiphoneなどアップル製品でも閲覧できるjQueryに変更した。（◎） ・各コンテンツの更新頻度を高くし、トップページの更新状況が一目でわかるようにテキストボックスを配置した。（◎） ・outlookメールシステムを構築、使用方法伝達。（○）</p> <p>●オープンスクール来校者数 第1回（10月）655名、第2回（11月）560名、第3回（12月）538名。合計1786名来校（昨年1819名） ●昨年とほぼ同じ人数を維持し、非常に多くの来校者を得た。中学生が減少する中、地域の関心は高まっている。（○）</p> <p>●地域連携 ・なごみ音楽会（○）・たそがれコンサート（○）・わいわい祭り（○）・旭区役所連携演劇ボランティア（○）・学校周辺の清掃（○）・信号守らせ隊（○）・ドリームコンサート（○）</p> <p>●教職員研修 ・スクールハラスメント研修（7月）・安全衛生委員会（9月）・ベネッセスタサポ分析研修（10月）・学校保健委員会（11月）・ホワイトボード研修（12月）・アクティブL研修（2月）・総合の時間進め方研修（3月）（○）合計7回実施した。</p>